

様式第4号（第10条関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和6年度 第1回西脇市環境審議会
開催日時	令和6年8月21日（水） 午前9時30分～午前11時10分
開催場所	西脇市役所3階 大会議室
出席委員の氏名 又は人数	熊谷 哲 仲田利行 飛田良平 久米敏正 土本美鈴 門上きく 時政良光 藤原 治 小坂和也
欠席委員の氏名 又は人数	齋藤博史 宮崎 隆 戸田佐千子
出席職員の職・ 氏名又は人数	(幹事) くらし安心部長 萩原靖久 (事務局) 環境課長 本間健夫 環境課長補佐 吉山明宏 環境課 小谷大樹 環境課 三村尚暉
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1人
議題又は協議事項	1 開会 2 会長あいさつ 3 委員紹介 4 副会長選出 5 報告事項 (1) 西脇市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について ～令和4年度年次報告～ 6 審議事項 (1) 西脇市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画アクションプラン（2025～2027年度）における取組施策について 7 その他 8 閉会

会議の記録（概要）

発言者	
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>○ 会議の成立の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員12名中9名出席により、会議成立を報告 <p>3 委員紹介</p> <p>○ 議長着任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西脇市環境審議会規則第3条第1項の規定により、会長が会議の議長となる。 <p>4 副会長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員間の互選をもって、副会長に仲田委員を選出
議長	<p>○ 議事録署名人選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録署名人に、門上委員と時政委員を指名 <p>○ 会議の公開・非公開確認</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非公開内容がないことを審議会において確認したため、本日の会議は公開とすることを決定 <p>○ 傍聴定員の決定</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の傍聴希望者は1人であることを報告
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西脇市環境審議会運営規則第4条に定める定員以下のため、入室を許可する。

	<p>5 報告事項</p> <p>(1) 西脇市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について ～令和4年度年次報告～</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料6に基づき事務局より説明
議長	<ul style="list-style-type: none"> 資料6について質疑等はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケット等が行う店頭回収により回収された資源ごみは、最終的にどこに持ち込まれ、どのような流れでリサイクルされるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 各事業者が委託するリサイクル業者等により処理されるため、具体的な流れについて把握していない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 店頭回収された資源ごみはみどり園で処理されていないということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> そうである。なお、店頭回収量については、兵庫県から年に一度「店頭回収実態調査結果」として情報提供を受けている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 西脇市内でも古紙回収ボックスを見かけることが増えたと思うが、その回収量やリサイクルの流れなど全てを市で把握することは難しいと思われる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今年の8月に兵庫県環境部が「令和3年度 兵庫県の一般廃棄物処理」という資料を公開した。県内市町のごみ量等をまとめたものである。その資料では、集団回収を除く1人1日当たりのごみ排出量について、西脇市は760gで県内41市町中7番目に排出量が少なく、近隣の多可町は622gで最も排出量が少ない市町となっている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「兵庫県の一般廃棄物処理」について、西脇市と多可町に関する情報提供があったので、北播磨圏内の市町の状況について補足する。 集団回収を除く1人1日当たりのごみ排出量は、加東市が717gで県内3位、三木市が971gで県内37位、小野市が877gで県

議長	<p>内27位、加西市が 766 g で県内10位であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 西脇市と多可町は、みどり園でごみの共同処理を行っており、ごみの分別区分も変わらない中、ごみ排出量についてやや差が出る結果となった。今後アクションプランを進める中で、多可町のごみ減量施策を参考にすることも一つの手である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市内の集団回収は主に子ども会が担っていると思うが、少子化に伴い、子ども会の維持自体が困難な状況となっている。近年の集団回収の実績から見て、子ども会の活動縮小の影響は感じられるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 集団回収を行っている団体数については、資料6 13ページの表「集団回収量の内訳」に示すとおりで平成28年度以降ほぼ横ばいで推移している。 なお、子ども会の活動縮小に起因したものかは不明であるが、店頭回収量を除く集団回収量は減少傾向にある。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 他に質疑等はないか。 <p>(質疑等はなし)</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> 他に質疑等がないため、次の議事に進行する。
<p>6 審議事項 (1) 西脇市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画アクションプラン（2025～2027年度）における取組施策について</p>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料7に基づき事務局より説明
議長	<ul style="list-style-type: none"> 資料7について質疑等はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料7 11ページに「エコショップ認定制度（仮称）」とあるが、どのような制度を想定しているか。また、先進事例について分かる範囲で情報提供いただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 大別して2つの制度設計を想定している。1つ目は認定ショッ

	<p>プに対して、何らかのインセンティブを用意する方法である。2つ目はインセンティブ等を用意せず、市ホームページや広報紙で認定ショップの店名や取組を紹介する方法である。</p> <p>インセンティブの事例として、指定収集袋を販売した際に事業者に入る販売手数料を、認定ショップについては優遇している自治体がある。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> フリーマーケットの利用促進であるが、近年は安価に新しいものが手に入るため、フリーマーケットに出店してもなかなか売れない。また、フリーマーケットに出店したくても細かな仕組みが分からない人もいる。出店を手助けしてくれる人や制度があればありがたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ごみステーションに捨てられた剪定枝を見ると、「何かいい活用方法があればいいのに。」と思うことがある。委員の中で、剪定枝を有効活用している事例があれば情報提供願いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 剪定枝や竹をチップ化するために地元のコミュニティセンターで破砕機を購入した。破砕後のチップは肥料に活用できると聞いている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 段ボールコンポストについて、今後推進する予定はないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 段ボールコンポストについては、過去に西脇市でモニター実験を行ったことがあり、出来上がった堆肥の使い道や臭いの発生など課題が多く、アクションプランにおいて個別の施策として推進することは難しい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> コンポストによる堆肥化は、住環境によって取り組みやすさが変わってくる。人家が密集している地域で行うには、虫が湧くおそれがあることや臭いの観点からやや困難である。また、出来上がった堆肥も小さなプランターで使用するだけでは消費することができない。畑などを持っており、堆肥を活用できる人には積極的にコンポストに取り組んでいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 参考に他市町のごみ減量に関する取組を紹介する。 加東市では、ハンガーやおもちゃなどの硬質プラスチックを分

<p>議長</p>	<p>別回収の対象とし、リサイクルを行っている。リサイクル率の向上やごみの焼却量が減るメリットがあるが、市民の方が分別する手間が増えるといったデメリットもある。</p> <p>高砂市では、事業系ごみの搬入時にごみ袋を開けて中身を確認する展開検査を強化している。これにより、本来受入できない産業廃棄物の混入が減少したとのことである。</p> <p>播磨町では、「分ければ資源、混ぜればごみ」の意識啓発を徹底している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去におもちゃの交換会を行っていたことがある。不要になったおもちゃを交換会に出すことで、ポイントが付与され、そのポイントを使って、他の人が持ち込んだおもちゃと交換するシステムである。状態のいいおもちゃはすぐに引き取られていくが、古いものや状態の悪いおもちゃは残り、最終的に主催者で全て処分しなければならなかった。 <p>また、現在のおもちゃは電子部品が多く使われており、故障しても修理して再利用することが難しい。昔のおもちゃは手作りのものも多く、簡単な修理を行うことで長く使うことができた。ごみ量が減らない一つの要因ではないかと思う。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ごみカレンダー等は多言語化されているのか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ごみの種類と持ち出しルールは、英語、韓国語、ベトナム語、中国語、ミャンマー語の5か国語に翻訳されている。 <p>なお、外国人労働者を多く雇う事業者によると、インターネット等で確認できる情報であれば、翻訳したい日本語部分をコピーアンドペーストし、スマートフォンアプリに貼り付けすることで簡単に母国語に翻訳できることから、みどり園が配信するごみ分別アプリ「さんあーる」を各自導入し、必要な情報を得ているとのことであった。</p>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最近ではスマートフォンで印刷物を撮影することで好きな言語に翻訳をしてくれる技術もある。紙媒体だけでなく、インターネットを通じて生活情報を入手できる環境を整える施策も今後は重要になってくる。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2点質問する。

事務局	<p>1点目は、過去に西脇市内のスーパーマーケットで店舗から出た生ごみを堆肥化している事業者があったが、今も行っているのか。</p> <p>2点目は、蛍光灯の回収後はどこで処分を行っているのか。どこかの事業者にリサイクルを依頼しているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1点目について、過去に取り組みをされていたことは認識しているが、現在も継続して行っているかは把握していない。 2点目について、みどり園に確認し次回審議会での回答としたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 他に質疑等はないか。
議長	<p>(質疑等はなし)</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> 他に質疑等がないため、次の議事に進行する。
事務局	<p>9 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回審議会は9月下旬から10月上旬を予定 <p>10 閉会</p>
問合せ先	<p>くらし安心部環境課</p>